

2012年7月28日付連邦法第128号「連邦法『生産及び消費の廃棄物について』及び予算法典第51条への修正について」（2012年9月1日発効）

## 第1条

1998年6月24日付連邦法第89号「生産及び消費の廃棄物について」第5章に以下の内容の第24.1条を追加する。

### 「第24.1条 廃車税

1. 本条6項に上げられた自動車を除くロシアに輸入されるかロシアで製造される自動車につき、環境安全保障を目的として廃車税が支払われる。
2. 廃車税が支払われる自動車の種類とカテゴリーは、連邦政府によって決定される。
3. 廃車税の支払者は以下のものである。  
ロシアに自動車を輸入するもの、  
ロシアの領内で自動車を製造するもの、  
本条6項の2, 3, 4段に従い廃車税を支払っていないもの、あるいは廃車税の手続を犯して支払っていないものから自動車を入手したもの。
4. 廃車税の算出、支払、還付手続を含む廃車税の徴収手続、及び廃車税額については連邦政府によって定められる。廃車税の徴収は連邦の権限ある行政機関によって行われる。
5. 廃車税額の設定に当たっては、製造年、重量、及び消費特性を失った自動車から生じる廃棄物の処理に係る費用に影響を与えるその他の物理的特性が考慮される。
6. 以下の自動車に関しては廃車税は支払われない。

在外同胞のロシアへの自由意思による移住の支援に関する国家プログラムの対象者である自然人、あるいは然るべき手続に従い避難民または移住を余儀なくされたと認められる自然人の個人資産として輸入された自動車。

慣例的原則及び国際法の基準に従い特権を享受する外交団、領事機関、国際機関、またはそれらの職員及びその家族が所有する自動車として輸入されたもの。

製造から30年以上が経過し、商業的な旅客及び貨物輸送を目的としておらず、エンジン、車体、フレームを有し、元の状態を維持あるいは復元している自動車で、その種類、カテゴリーについて政府が定めるもの。

（連邦政府が定めた手続と条件で）廃車後の安全な処理の義務を引き受けた生産者が製造した自動車。

ユーラシア経済共同体の枠組における関税同盟の参加国の領域からロシアに

輸入され、関税同盟商品のステータスを有する自動車。右の自動車に関する廃車税は、連邦政府によって定められた条件の遵守を前提として免除される。

2006年1月10日付連邦法第16号「カリネングラード州の経済特区及び幾つかの連邦法規への変更について」第12.2条1部に記された自動車で、2016年4月1日までに自由関税区域の関税手続を行ったもの。

7. 自動車パスポートは、本条3項に規定されたものによって廃車税が支払われるか、または本条6項5段で示された義務が引き受けられた自動車、及び、本条6項2～4段、6段、7段に従い廃車税が支払われなかった自動車に対してのみ交付される。
8. 廃車税の支払われた自動車が消費特性を失った結果生じた廃棄物の処理に係る企業及び個人業者の経費は、連邦予算法に従い連邦政府によって定められた額及び手続において連邦予算によって補償される。当該企業及び個人業者に対する要件は連邦政府によって定められる。
9. 本条3項で定められたものによって廃車税が支払われた自動車、または本条6項5段で定められた義務が引き受けられた自動車につき、それらが消費特性を失った結果生じた廃棄物を、その処理を実施する企業及び個人業者、または本条6項5段で定められた義務を引き受けた企業、あるいはその代表者に引き渡す際に、当該自動車の所有者から支払を徴収してはならない。」

## 第2条

連邦予算法典第51条1項に以下を付け加える。

「廃車税—基準は100%」

## 第3条

1. 本連邦法は2012年9月1日に発効する。
2. 1998年6月24日付連邦法No.89「生産と消費の廃棄物について」第24.1上の効力は、本連邦法が発効する前に自動車パスポートが交付された自動車には及ばない。

ロシア連邦大統領

V. プーチン